愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	道徳教育の指導法（小学校）		
担当者(Instructors)	丹下 悠史	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

道徳や道徳性に関する理論、道徳教育の歴史を理解し、学習指導要領に示された道徳教育の内容・方法、研究法を身につけることを通して、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育、とりわけその要となる道徳科を実践する力を身につける。以上の内容を講義形式で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で行う。授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要、道徳の学習経験の振り返り	はじめに講義の趣旨、内容、評価等について説明する。また、道徳教育とは何か、 そもそも道徳とは何かといった基礎的な問いを、受講生各自の経験を振り返りながら考える。	□
第2回	道徳の本質・道徳とは何か：倫理学の代表的理論	道徳的価値とは、道徳的であるとはどのようなことか、道徳と法やルールには違いがあるかを、哲学や倫理学の知見を手がかりにして考察する。	□
第3回	子どもの成長と道徳性の発達	教育の受け手である子どもの道徳性の発達を、社会学や心理学の知見を手がかりにして考察する。	□
第4回	道徳教育の歴史（１）：明治期～戦時期における道徳の教育	明治期～戦時期における日本の道徳教育の形態や方法を理解し、現在の道徳教育との共通点や相違点を考察する。	□
第5回	道徳教育の歴史（２）：戦後の道徳教育	戦後の道徳教育の形態や方法を理解し、道徳教育の今日的課題について議論する。	□
第6回	子どものモラルをめぐる課題：いじめ・子どもの荒れ・青少年の犯罪と教育	いじめ・子どもの荒れ・青少年の犯罪といった子どものモラルをめぐる諸問題を理解し、現代の子どもや子どもを取り巻く環境について考察する。	□
第7回	道徳科の指導（１）：学習指導要領の検討：目標・内容・教育活動全体を通じた指導	小学校の学習指導要領の道徳に関する記述を吟味し、目標・内容・教育活動全体を通じた指導といった道徳教育の位置づけを理解する。	□
第8回	道徳科の指導（２）：多様な指導方法の特徴	道徳科の具体的な授業方法を理解し、それぞれの指導法の特徴を考察する。	□
第9回	道徳科の指導（３）：学習過程の分析と評価にもとづく授業改善	道徳科の学習過程の分析・評価方法を学び、これらによる授業改善についての基礎的な知識・技能を獲得する。	□
第10回	主体的な学びに向けた道徳科の指導計画（１）：教材解釈と授業設計への活用	道徳科の指導計画の作成に向け、教材解釈とその授業設計への活用の仕方を学ぶ。	□
第11回	主体的な学びに向けた道徳科の指導計画（２）：発問構成と指導過程	道徳科の指導計画の作成に向け、発問構成および指導過程の計画の仕方を学ぶ。	□
第12回	主体的な学びに向けた道徳科の指導計画（３）：ねらいに基づく指導案の作成（模擬授業）	道徳科の指導計画を作成し、模擬授業を行う。	□
第13回	道徳科における新しい教育課題：情報モラル・生命倫理・社会の持続可能な発展	情報モラル・生命倫理・社会の持続可能な発展といった、道徳教育における現代的課題を理解し、学校段階にそくした実践の方法を考察する。	□
第14回	海外における道徳の教育：市民性教育、価値教育等	市民性教育、価値教育等、海外における日本の道徳教育に相当する教育実践を学び、その意義や課題を考察する。	□

第15回	本授業のまとめ	これまでの学修内容を振り返り、15回のまとめの課題に取り組む。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、テキストまたは参考図書から次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習（読解・要約）を課す。
事後学習として、講義の終わりに提示した問いに対し、授業内容およびテキスト、参考図書を参照して2時間程度で自分なりの解答をまとめることを課す

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内課題は採点して返却し、次回の授業に解答例と解説を示す。 期末の筆記試験は、実施後、LMSに解答例と解説を示す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	道徳及び道徳性に関する諸理論、道徳教育の歴史や意義を説明できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	学校教育における道徳教育の位置づけ、内容、今日的課題を説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	道徳科の授業を計画したり、既存の実践を評価し自らの見解を述べたりすることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
30%				70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内課題（記述式の小テスト、学習指導案の作成、模擬授業など）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省『小学校学習指導要領』（インターネットからダウンロード可）平成29年3月告示	978-4491034607
2	文部科学省『小学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編』（インターネットからダウンロード可）平成29年7月告示	978-4908255359
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	田中智志・橋本美保監修、松下良平編著『道徳教育論』一藝社	978-4863590663
2	荒木寿友・藤沢文編著『道徳教育はこうすれば〈もっと〉おもしろい』北大路書房	978-4762830891
3		
4		
5		